



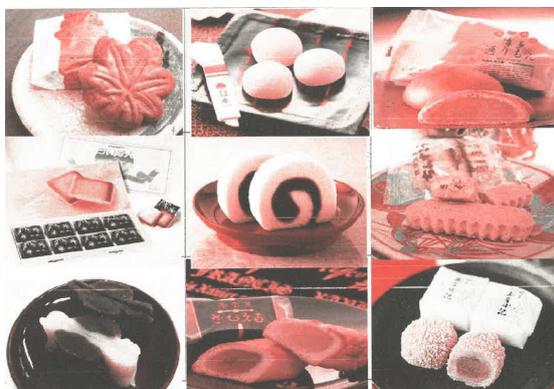
まもなく夏休みを迎えようとしています。1年生は文理選択を、2年生は秋からの受験勉強のスタートを見据えた過ごし方が必要です。3年生はまとまった学習時間が取れる最後の機会です。それぞれの学年に応じてやっておくべきことがあるのがこの夏休みです。なお、例年夏休み中も教員に質問や相談をする生徒がよく見られます。何かあったら身近な教員に声を掛けてください。

<5月12日(金) 進路講演会(1、2年生)より>

5月12日(金) 3校時に2年生、4校時に1年生の進路講演会が行われました。ベネッセの横山梨乃さんをお招きし、1年生は「将来について考えよう、みなさんにがんばってほしいこと」2年生は「第一志望合格に向けた1年間の学習について考える」をテーマとしてお話しいただきました。その中で挙げられた話題の一部を紹介します。

◎1年生講演より【人生最後のおやつ。あなたならどれを選ぶ?】

人生最後のおやつとして次の写真の中から好きなものを1つ選べるとしたら何を選ぶかという問いが出され、各自で考え、答えを決めました。その上で、次のようにお話が続きました。今決める際に、知っているものの中から選んだのでは? 9つ全てを知っているわけではなく、知っているものの中から範囲を狭めて選んだのではないだろうか? これは進路選択にも起こり得ることで、ここしか



どれを
選びますか?

7月の進路関係行事

- 14(金) 科目登録説明会①②
進研記述模試③
- 15(日) 進研記述模試①②③
- 16(日) 保護者会③
- 21(金) 全統共テ模試③[~22(土)]
- 24(月) 終業式 小論文模試③(1)
- 25(火) 三者懇談期間③[~31(月)]
課外③ I期[~26(水)]
- 27(木) 課外③ II期[~28(金)]
- 29(土) 大学別模試③[~30(日)]
- 31(月) 課外③ III期[~8月1日(火)]

8月の進路関係行事

- 2(水) 登校学習会①②③[~5(土)]
宿泊学習会①②③[~5(土)]
- 7(月) 課外③ IV期[~8(火)]
部活動優先先期間[~11(金)]
- 9(水) 大学別模試③[~10(木)]
- 13(日) 諸活動休止日[~16(水)]
- 17(木) 課外 V期③[~18(金)]
- 18(金) 保護者会①②
- 19(土) 全統模試①②
- 22(火) 始業式
スタサポ①② [~23(水)]
校内実力試験③ [~23(水)]
- 26(金) 進路希望調査③
- 26(土) 理社課外③(2)
小論文課外③(2)
- 27(日) オープンスクール
- 28(月) 家庭学習日(8/27代休)
- 30(水) 山梨大教育・生命環境学部説明会

※○数字は学年、()数字は回数を示します

知らないからまあここでいいや、という安易な姿勢ではなく、多くの情報を得て色々調べたがやはりここがいいな、という決め方が望ましい。自分が知らないお菓子の中に、実はおいしいものが潜んでいるかもしれない。知らないものは選べない。それを選ぶということ、それしか知らないということとは違うことだ。それしか知らないではなく、それがいいから、という選択を。

◎2年生講演より【友達からの電話。「道に迷った。どうしたら行ける?」さて、何を聞きますか?】

上記の問いが出され、各自で考え、答えを決めました。その上で、次のようにお話が続きました。「今どこにいるの? 次どこに行きたいの?」まずこれを聞くことが多いのではないだろうか。目的地にたどり着く方法は、自分が今どこにいるかによって違う。南高に行くにも甲府駅にいるのか甲斐住吉駅にいるのかによって方法やかかる時間が異なる。同様に受験勉強においても①目的地を知る(第一志望合格のために必要な学力を知る、入試の配点・問題・合格ラインなど)②現在地を知る(自身の現在の学力を知る、模試の振り返りなど)が必要である。目的地との距離を縮めることが受験勉強。①②の点を明らかにし、方法を検討した上で歩き始めよう。

1年生は物事の選択、2年生は物事の取り組み方に関するお話で、これらは受験以外にも幅広い年代において生かせるのではないのでしょうか。

<6月30日(金) キャリア教育講演会(1年生)より>

ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ営業副部長の井尻真理子さんをお招きし、「何事も一生懸命」というテーマのもと、講演会を行いました。資金や社員数が少ない山梨のチームが人々の支えや工夫の積み重ねなどにより天皇杯で優勝を果たしたことや、仕事をする上では様々な力が必要になるため、学校の勉強も今はその必要性が見えなくてもがんばっておいた方が良く、人生に無駄な経験はない、などと語っていただきました。何かの工夫をするにも広い視野と柔軟な発想が必要で、井尻さんの今までのあらゆる経験により多くが生み出されたのだと思われます。働き方や生き方のヒントを多く得る機会でした。

【連載】私の進路選択 第1回 篠原 健校長先生(数学)

今回から「私の進路選択」をテーマとし、南高校の先生方に大学、就職について決定した際の体験談を伺っていきます。第1回目は篠原健校長先生です。

高校時代は地理と数学が好きでした。地理については小学生の頃から地図帳をながめることが好きで、自然と好きになりました。数学は中学校まではあまり得意ではありませんでした。高校に入り勉強を進めるうちに面白いと思うようになり、よく勉強をしました。先生の言うことをあまり聞かずに自己流で勉強していたので、時間がとてもかかり効率の悪い勉強でした。しかしながら、自分でとことん考えたり調べたりという経験をしたことは、その後の人生に大いに役に立っていると感じています。

ところで、高校卒業後の進路選択について、みなさんはどのように考えているでしょうか。「〇〇という仕事に就くために、△△学部に行きたい」と具体的に将来の職業を念頭に進学を考えている人もいれば、「将来やりたいことが明確ではないが、進学する」という人もいます。どちらの考えも間違っていないと思います。ちなみに、私の場合は後者の考えに近く、将来の自分を描くことができていませんでしたが、もう少し好きな数学を勉強してみたいと思い大学へ進学しました。大学は、最先端の研究と高いレベルの教育の両方を行う場であり、新しいアイデアを生み出せる人材や、高度な専門的知識を持った人材を育成する場でもあります。大学で学ぶことにより、自分を取り巻く環境や社会に対してどのように関わっていくのかを考え、自分の将来を模索することもありだと思います。

さて、今現在私は教員(数学)ですが、大学時代には教員になろうとは考えていませんでした。教員になりたいとの明確な意思を持つ人だけが教員になるべきと考えていたので、民間企業への就職を考えていました。考えが変わるきっかけはいくつもありましたが、教育実習を経験したことが一番大きいものでした。全く考えていなかった職業に就き、今に至っています。明確な将来像がある人もない人も、それぞれ進んだ道に縁があったと考え、まずはその道をしっかり進むことが大切であると思います。

進路資料室を活用してみよう

みなさんは、進路指導室隣り、本館2階の西側一番奥の部屋は何という部屋か知っていますか？この部屋は「進路資料室」と言われ、みなさんの将来に関する様々な資料が置いてある宝の部屋です。例えば各大学別の入試問題や解説が載っている「赤本」「青本」や大学のパンフレットはほぼ全国の主要大学のものが揃っています。また南高の先輩たちが実際に推薦入試や一般入試で受けてきた面接や小論文などの内容や後輩へのアドバイスがぎっしり詰まった受験報告書も10年以上蓄積されており、自由に閲覧することができます。その他にも受験に関する多様な情報誌や様々な職業に関する本などが設置されています。赤本などの資料は貸し出しもしていますので、貸出希望の生徒は借りたい本を持って進路指導室で貸出簿に記入して手続きをしてください。貸出期間は1週間、返却の際には貸出簿に印鑑をもらって返却してください。「情報を制する者は受験を制す」と言われますが、正しく知っているかどうかが受験結果を大きく左右させることは間違いありません。ぜひ積極的に進路資料室を活用してください。



進研模試過去問、共通テスト対策問題集、全国の大学のパンフレットのコーナーです。パンフレットは息抜きにもおすすめです。眺めに來てください。



難関大対策問題集(青本・赤本)、医学部対策書籍などのコーナーです。特に秋から3年生の利用者が増えますが、1、2年生も手に取ってみてください。



全国の大学の入試問題集、卒業生の受験報告書などのコーナーです。受験報告書は面接・小論文対策の必需品です。



全国の大学の赤本コーナーです。過去3年分あり、大学ごとの入試問題、難易度、出題傾向が分かります。

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部

URL <https://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp